

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年2月21日

(ニューイングランドジャーナル論文) 新型コロナに感染した成人ハイリスク外来患者に対する経口薬ニルマトレルビルの効果

【松崎雑感】

ニルマトレルビルという抗ウイルス薬がわずか5日間の投与で、新型コロナ感染による死亡と重症化を10分の1に抑えたという画期的情報です。

問題は、発病から3日以内に投与しなければ、この素晴らしい効果が期待できないという事です。

「みなし感染者」で重症化したとか、発熱や咽頭痛が出ても3日間我慢した人々が4日目にPCRで新型コロナと診断されても、この薬剤の効果はあまり期待できないこととなります。誰でも、いつでも、どこでもPCR検査を受けられなければ、命を助ける効果のある治療を受けられないこととなります。

新型コロナに感染した成人ハイリスク外来患者に対する経口薬ニルマトレルビルの効果

Hammond J (From Global Product Development, Pfizer) , Leister-Tebbe H, Gardner A, Abreu P, Bao W, Wisemandle W, Baniecki M, Hendrick VM, Damle B, Simón-Campos A, Pypstra R, Rusnak JM; EPIC-HR Investigators. **Oral Nirmatrelvir for High-Risk, Nonhospitalized Adults with Covid-19.** **N Engl J Med.** 2022 Feb 16. doi: 10.1056/NEJMoa2118542. Epub ahead of print. PMID: 35172054.

【要旨】

ニルマトレルビルは、試験管内実験によりヒトに感染するコロナウイルス科全般に対して強力なメインプロテアーゼ阻害効果を持つことが示されている。

臨床トライアルのⅡ～Ⅲ相として、新型コロナに有症状感染したワクチン未接種かつ重症化リスクの高い成人外来患者を対象として、ニルマトレルビル300mg+リトナビル100mg群とプラセボ投与群の効果を比較した（1日2回5日間投与）。

発病から3日以内に投与を開始した。

実薬群＋プラセボ群合計2246名投与。うちintention to treatグループとされた774名について、入院あるいは死亡に至った者は、実薬群389名中3名（0.77%；入院3名、死亡ゼロ名）、プラセボ群385名中27名（7.01%；うち死亡7名）。

最終解析では、**実薬群はプラセボ群よりも入院と死亡リスクが88.9%低下していた。**

副作用出現頻度は実薬群22.6%、プラセボ群23.9%。

うち重症は実薬群1.6%、プラセボ群6.6%。

<結論> ニルマトレルビル＋リトナビル療法は、プラセボよりも89%重症化（入院、死亡）を低下させた。安全性に問題は見られなかった。